

在シドニー総領事通信

第 38 回 「Japanaroo 2021」の開催に向けて

令和3年（2021年）5月7日

一年半前にシドニーに着任して大変嬉しく思ったのは、日本文化や日豪交流を担う幅広い団体が当地で様々な活動を行っていたことです。大規模な行事も、ダーリングハーバーでの祭りジャパンフェスティバルや日本映画祭などが毎年開催されています。しかし、これらの活動や行事の多くは、昨年来の新型コロナウイルスの影響で、大部分が中止、延期やオンラインへの移行を余儀なくされています。

そのような中、日本文化や日豪交流を担う団体が、いわば持ち寄りパーティーのように、それぞれの活動を目に見える形で一斉に行えば、存在感のある大規模な行事にできるのではないのでしょうか。昨年末から官民双方の関係者間で議論を重ねてきた結果、本年8月20日から29日まで、対面・オンライン・ハイブリッド行事を組み合わせる形で、シドニーを起点に「Japanaroo 2021」を開催することになりました。

今回の総領事通信では、これまでの議論や準備状況をご報告するとともに、特に日本文化や日豪交流を担う団体や企業の皆様におかれては、可能であれば「Japanaroo 2021」に参画して関連行事を開催いただくよう呼びかけたいと思います。



日本文化行事関係者の意見交換会
(2021年12月3日) (日豪プレス提供)

●日本文化行事関係者の意見交換会

昨年12月3日、在シドニー日本国総領事館の主催で、日本文化行事の主要関係者が集まり、新型コロナウイルスの影響が残る中、来年どのように日本文化行事を開催するか、日程や方針についてお互いに情報共有するとともに、意見交換を行いました。

各団体とも、シドニー市内で市中感染が発生した場合の規制強化などが見通せず計画を立てにくい一方で、2021年後半であれば、例年開催されている日本映画祭や祭りジャパンフェスティバルと相乗効果がある形で、1～2週間程度の日本祭を相互に連携して開催できるのではないかとこの点で意見が一致しました。

2021年3月11日にはシドニー日本クラブ（JCS）のレインボープロジェクトが東日本大震災10年の日本文化行事開催が予定されていたので、その後に改めて検討を進めることとなりました。



Japan Live Week（仮称）企画調整会合
（2021年3月19日）

●Japan Live Week？

このフォローアップとして、本年3月19日に国際交流基金日本文化センターで、新たな日本祭を開催するための企画調整会合が開催されました。この場では、以下の3点を目的に掲げ、Japan Live Week（仮称）を8月20日～29日に開催することでコンセンサスが得られました。

- （1）新型コロナウイルスで日本への旅行が未だ困難な中、豪州で各種の日本関連行事を対面・オンライン・ハイブリッドで開催する。
- （2）豪州で日本文化、日本食、質の高い日本ブランドの商品やサービスを広めることにより、多文化主義を掲げる豪州の人達の生活を一層豊かなものにする。
- （3）豪州で日本ブランドの店舗・レストラン・ビジネスを活性化することにより、豪州経済に一層貢献する。

名称については、「Japan Live Week」の代わりに、豪州における日本文化の受容と発展に向けて「Japanaroo」とした方が良いとの提案が出され、次回会合で決定することになりました。



Japanaroo プラットフォーム会合
(2021年4月16日)

●Japanaroo 2021 の名称決定

その後、名称について特段の対案が出されなかったため、この枠組を「Japanaroo Platform」、来る日本祭の名称を「Japanaroo Fest」と仮置きして、行事公募要領案や各団体による行事案の作成作業を開始しました。

4月16日、国際交流基金日本文化センターで、Japanaroo プラットフォーム会合が開催され、行事公募要領が承認されるとともに、10以上の団体から行事素案の説明がありました。開会初日のシドニー音楽院での日豪競演パフォーマンス&コンサート、シドニー市と名古屋市のオンライン文化交流行事、オンライン日本観光・体験ツアー、着物の試着会、利き酒会、日本映画祭、日本関連セミナーやQRコード活用スタンプラリーなど様々なアイデアが出されました。

日本祭の名称については、「Japanaroo Fest」の「Fest」は英語として一般的でなく、むしろ2021という年を入れた方が来年以降も続くという決意が伝わるということで、「Japanaroo 2021」が出席者の総意として採択されました。



東日本大震災 10 年行事での鬼剣舞パフォーマンス（2021 年 3 月 11 日）
（シドニー日本クラブ（JCS）レインボープロジェクト提供）

●Japanaroo 2021 参加行事の公募開始

そして今週、Japanaroo 2021 参加行事の公募が始まりました。公募要領の冒頭は以下のとおりです。

『Japanaroo』は、豪州における多文化主義と日本との交流を推進するための新たなイニシアティブです。Japanaroo は、様々な日本関連の活動展開を通じて幅広い交流や文化的な対話を可能にするエコシステムを提供し、日本文化・ビジネス・ブランドを発見し接点を持つための機会を創り出します。Japanaroo は、豪州にいる人たちがわくわくするような文化体験を可能にすることにより、人々の生活を豊かにするとともに、ビジネスのイノベーションと雇用創出に貢献する独自の取組です。

このイニシアティブは、2021 年 8 月 20 日から 29 日まで開催される『Japanaroo 2021』で立ち上げられます。期間中、政府・コミュニティ・非営利組織、小売店・レストラン・その他の企業が、Japanaroo Platform による調整のもとで、日本に関連する特別行事を企画します。

Japanaroo 2021 の開催準備を行うために、Japanaroo Platform は、非営利のコミュニティ・文化交流団体、小売店、レストランやその他の企業・個人、州や市などの地方自治体による同期間中の行事開催を公募します。（・・・）」

行事公募要領の全文はこちらです。

https://www.sydney.au.emb-japan.go.jp/itpr_ja/Japanaroo2021_0506.html

この公募の呼びかけには、総領事館など 20 以上の官民双方の幅広い団体が Japanaroo Platform のパートナー及びサポーターとして名を連ねています。5 月末までに 50 以上の行事主催団体を得ることを目標に、今後広報を行っていく予定です。日本文化や日豪交流に関係する幅広い団体がお互いに出会い、共通の成功体験を得るすばらしい機会にもなると思います。

今回立ち上がった Japanaroo Platform を基盤に、8 月下旬に Japanaroo 2021 を開催し、その後も毎年継続することを目指しています。コロナを機会に広く導入されたオンラインのツールも最大限に活用するので、今後、シドニー大都市圏のみならず、豪州全体と日本全体を直接結び付けていくことも可能になるかもしれません。

Japanaroo 2021 を通じて、当地における日本の存在感が高まり、日本文化・日本製品・日本食の普及やコロナ後の訪日旅行の増加につながることを願っています。それにより、日本が豪州の多文化主義とビジネスに貢献し、日豪交流が一層発展することを期待しています。皆様も是非、Japanaroo 2021 にご参画いただければ幸いです。

日本文化行事意見交換会（2020 年 12 月 3 日）（日豪プレス 2021 年 1 月号）

<https://nichigopress.jp/ausnews/community/202328/>

Japanaroo 2021 行事公募要領（2021 年 5 月 6 日公開、5 月 31 日締切）

https://www.sydney.au.emb-japan.go.jp/itpr_ja/Japanaroo2021_0506.html

（以上）